

知的財産講習会及び第6回岐阜高専ラボ・ディスカバリーを開催

3月15日(火)、岐阜高専及び岐阜高専地域連携協力会の主催による「知的財産講習会及び第6回岐阜高専ラボ・ディスカバリー」を岐阜高専図書館多目的ホール等で開催した。

知的財産講習会は、講師に国立高専機構発明コーディネーター・弁理士の清水榮松氏を迎え、「高専の産学連携で求められる発明」と題して行われ、地域連携協力会会員16名、岐阜高専教職員34名が参加した。はじめに国立高専機構の知的財産について事例紹介等による説明があり、続いて参加者から活発な質疑応答が行われた。

続いてラボ・ディスカバリーでは、地域連携協力会会員対象とした岐阜高専の研究紹介が行われた。参加者は専門学科の5つの研究室を見学し、教員及び研究室配属学生からの説明に興味深く耳を傾けていた。



ラボ・ディスカバリー (研究紹介)